

政策 01 みんなで支えあう健康のまちづくり

施策 05 障がい者福祉の推進

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿  
障がい者が安心して生活し、社会参加できています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	在宅で生活している障がい者の割合 (%)	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対基準値
		【福祉課】	99.1	99.2	99.3	99
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が0.1ポイント増加した。これは、障がい者数が26人増加したのに対し、施設入所者は1名減少したことによるものである。					対前年度
	算定式 (在宅障がい者数/全障がい者数) (3,512人-26人) / 3,512人 = 99.26% 99.3%					☀️ (向上)
						目標達成度 🏰 (達成)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 障がい者の社会参加の促進

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	障がい者の自立支援サービス受給者数(人)	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【福祉課】	455	471	519	480	☀️ (向上)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が48ポイント増加した。これは、就労系事業所(就労移行支援・就労継続支援・就労定着支援)やグループホーム等の利用者が増加したことによるものである。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

## 基本事業01 障がい者の社会参加の促進

指標	施設入所から在宅生活への移行人数(人)	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【福祉課】	2	3	1	3	☁️ (横ばい)
評価	前年度の実績と比べると、現状値が2ポイント減少した。これは、新たに施設入所利用でなくなった人数は2名(転出)いたが、新規の施設入所利用が1名あったため。					対 前年度
						☔️ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)

## 基本事業02 障がい者の自立支援

指標	障がい者支援ボランティアの人数(人)	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【福祉課】	236	263	249	350	☀️ (向上)
評価	令和2年度現状値は249人で、前年度より14人の減少となった。新型コロナウイルスの影響でマインドフェア等のイベントで障がい者福祉の重要性を周知できなかったこと、また、会員の高齢化により担い手不足が原因と考えられる。					対 前年度
						☔️ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)

## 基本事業02 障がい者の自立支援

指標	地域生活支援事業延べ利用者数(人)	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【福祉課】	3,221	2,871	2,392	3,700	☔️ (低下)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が479ポイント減少した。これは、コロナ感染症拡大の影響によるサービス(訪問入浴を除く)の利用控えがあり、社会的要因によるものである。					対 前年度
						☔️ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業03 障がい者の人権擁護

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	障がい者の虐待件数（件）	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
		【福祉課】	2	3	1	0
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が2ポイント減少した。これは、虐待の相談・通報時の早期介入や関係機関との連携強化によるものである。目標値と比べると、現状値は1ポイント不足している。					対 前年度
						☀ (向上)
						(...)

基本事業03 障がい者の人権擁護

指標	障がい者差別に関する事案件数（件）	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
		【福祉課】	0	0	0	0
評価	前年度の実績値と比べ、現状値は増減なし。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						🏠 (達成)